

令和7年度 第3回 広沢小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月23日（木）13時00分から15時00分
- 2 開催場所 広沢小学校1階 開放教室
- 3 出席委員 山田 谷一 川上 玲子
橋本 憲幸 宮本 慶子 平野 圭吾
橋本かずよ 佐々木知成 加藤 いずみ
- 4 欠席委員 杉浦 友治
- 5 オブザーバー 西部協働センター 横市 佳音
- 6 学校コーディネーター 矢野 貴恵
- 7 教育総務課 鈴木 陽子
- 8 学校 浮田 佳昭（校長）、鈴木 俊彰（教頭）、
中村 隆太郎（主幹教諭）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 主幹教諭 中村 隆太郎
- 11 議長の選出について
司会の鈴木より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、平野委員を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
 - （1）個別最適な学び、協働的な学びと子供に付けたい力について
 - （2）大規模改修に伴う教育活動について
- 13 会議記録
司会の鈴木から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
 - （1）個別最適な学び、協働的な学びと子供に付けたい力について
 - ・司会の鈴木より、今回参観する授業の教科、単元、内容について説明があり、広沢小学校の研修主題である「個別最適な学び」「協働的な学び」の視点について確認が行われた。
 - ＜授業参観＞
 - ・研修推進委員の馬淵より、広沢小学校の研修構想について説明があった。
 - 勉強はよくできるが、勉強が好きだと感じている子の割合が年々減っている。そのため、主体的に学ぶ姿を実現することを目標としている。広沢小学校では、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現する授業作りを目指している。
 - ・議長の平野委員より、授業の感想について投げかけがあった。
 - 4年2組の授業の前半を見たが、導入でゲームをしながら友達同士の関わりが楽しくもてていた。6年2組の授業では、「ハロウィーンパーティにやりたいゲーム」をテーマに話し合っていたが、いろいろな児童がいる中で、どの子も発言する機会があった。小グループで行っている効果だと感じた。（山田委員）
 - 4年2組の授業では教師の「OK？」という言葉で児童に確認しながら段階を踏めていると感じた。また、掲示が工夫されていてよかった。6年2組はみんなで話し合うことができていた。また、意見を出すだけでなく、まとめることができていたので、これまでの積み重ねを感じた。（川上委員）
 - 4年生の授業の導入で行われていたテトリスのゲームでは、子供たち同士で「なぜそこに置くのか」を説明しながら協力して行うことができていた。6年生の授業では、出た意見をパソコン上で終わらずホワイトボードに書くことがよかった。（佐々木委員）

○4年生の授業では、授業者がたくさんのワークシートを用意していたので、失敗を恐れずにチャレンジすることができていた。また、面積の求め方について黒板を使って説明する部分では、学級全体で意見の共有ができていた。

（加藤委員）

・議長の平野委員より、「個別最適な学び」「協働的な学び」の機会がどれくらいあるのか質問があった。

○4年生の算数では、日々の授業から自分の意見をもって、友達と共有する機会がある。（4年2組担任牧野）

○6年生の国語では、共有の仕方として、ホワイトボードだけでなく、ダブレットなどを使って日々行っている。（6年2組担任兼子）

・議長の平野委員より、授業の進め方について感想を投げかけられた。

○「協働的な学び」の中で、子供同士の摩擦がないのがすごいと感じた。やはり広沢の子だからできる内容なのかなと感じた。中学生や大人でもあれだけ話せるか疑問である。（橋本憲幸委員）

○子供の感じる「勉強が好き」とはどういう感情なのか疑問に思う。単に「楽しい」から好きというのは違うのかもしれない。本当の意味で「勉強が好き」という気持ちになるための「個別最適な学び」「協働的な学び」であってほしいと思う。今日見た授業では、授業者が生き生きとしていて子供たちも輝いていた。いろいろな子供たちがいるので、いろいろな形式の授業があってもいいと思う。（宮本委員）

・授業者より授業構想の説明があった。

○4年生は、面積をいろいろな工夫をしながら求めることを目標としていた。（4年2組担任牧野）

○6年生は、子供たちが必要感をもてるテーマを設定して、根拠を明確にした意見となるように考えながら話し合った。それぞれの意見を取り入れながらまとめていくことを目指した。（6年2組担任兼子）

（2）大規模改修に伴う教育活動について

・司会の鈴木より、大規模改修の概要について説明があった。

○令和8年度11月から仮設校舎の建設が始まる。工事車両が入ったり、運動場の使用制限が加わったりする影響がある。令和9年度の6月より令和10年度の8月にかけて第1期工事、令和10年度9月より令和11年度8月にかけて第2期工事、令和11年度9月より令和12年度8月にかけて第3期工事が行われる。

・議長の平野委員より、地域として子供のためにできる案はないかと投げかけられた。

○地域スポーツの立場からすると、学校の運動場が3年間使えなくなると広沢小学校の名前を冠したスポーツチームはなくなってしまうのではないかと危惧している。仮設校舎の位置を工夫して、地域スポーツが活動できるようにできないか。（佐々木委員）

○工事車両など影響が大きいので、子供たちへの啓発、保護者への啓発が必須であると思う。（橋本憲幸委員）

○できるだけ子供への影響が少なくなるようにしてほしい。学校からだけでなく、地域からも声を挙げていきたい。（佐々木委員）

○工事車両の出入りは、子供の在校中外の時間に行う予定。（浮田校長）

○子供の安全を考えれば、正門以外の門の利用が必要になると思う。（佐々木委員）

○令和11年に校庭も、体育館も利用できない時期に子供たちがどのように運動をするのが心配である。（橋本かずよ委員）

その他報告事項等

- ・主幹教諭の中村から全国学力学習状況調査結果の報告があった。
- ・矢野CDから読み聞かせ、図書室、大掃除ボランティアの活動の状況について説明があった。
- ・教頭より以下の報告及び連絡があった

○次回の熟議内容の確認

- ・司会から、次回会議は、令和8年2月17日（火）13：30～15：00
開放教室で開催する旨の報告があった。

.